

一般社団法人山口県医師会平成29年度第12回理事会

平成29年9月21日(木) 午後4時55分～午後6時55分

河村会長、吉本・濱本副会長、林専務理事、弘山・萬・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・清水・船津・前川・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 平成30年度施策・予算に関する要望について

医療・介護の適切な財源確保、地域医療介護総合確保基金の充実強化、地域医療構想と地域包括ケアシステム構築の実現に向けた取組み、予防接種等の対策、災害時救急医療体制の整備等の5項目について要望することが決定し、「医療従事者の確保対策の推進」及び「看護職員等の確保及び養成施設への支援・拡充」を重点項目とすることが決定した。詳細内容及び追加事項について再確認し、次回理事会にて最終決定することとした。

2 第7次保健医療計画の「5疾病及び在宅医療」の医療機能(案)について

第7次山口県保健医療計画(H30年度～H35年度)の医療連携体制(5疾病・在宅医療)における医療機能について、ワーキンググループ及び郡市医師会からの意見等を踏まえた最終案について協議した。本理事会での意見を加えたものを県医師会案とし、県に提出することが承認された。

3 療養病床転換意向等調査(平成29年度第2回)について

本年7月、県が療養病床の転換意向等に係る調査(H29年度～H32年度)を実施したが、地域医療構想の最終年度である平成37年度までの中長期的な転換意向等を把握する必要があるとして、さらに第2回調査を実施することについて協力依頼があり、協議の上承認された。

4 ホームページのリニューアル(案)について

今年度の広報・情報の新規事業であるホームページのリニューアルについて、レイアウト案を示し変更点について協議した。10月中に最終決定し、12月に公開する予定。

5 「JATEC山口コース」開催に係る後援について

山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座の小田泰崇 准教授が代表を務める「山口県 JATEC コース開催委員会」により標記トレーニングコースが開催される。名義後援並びに助成金の依頼があり、承認された。

報告事項

1 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事・関係者合同会議(9月7日)

郡市医師会担当理事、県、市町担当者及び本会による合同会議を開催。始めに、県健康増進課から、平成27・28年度麻疹予防接種実施状況、ヨーロッパ地域における麻疹患者報告数の増加等について報告があった。引き続き、本会から平成30年度妊婦・乳幼児健康診査における参考単価(案)、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、平成29

年度広域予防接種における高齢者インフルエンザ予防接種、平成 30 年度広域予防接種における個別接種標準料金（案）について説明の後、協議した。（藤本）

2 「精神疾患」ワーキンググループ第 3 回会合（9 月 8 日）

第 7 次山口県保健医療計画の策定にあたっての、標記第 3 回会合を開催。最終案は、理事会で承認を得た後、医師会案として県へ提出することが決定した。（弘山）

3 第 1 回山口県国民健康保険運営協議会（9 月 8 日）

協議会傍聴要領、事業費納付金・標準保険料率の算定方法、山口県国民健康保険運営方針等について協議を行った。（沖中）

4 産業医研修会（9 月 9 日）

山口労働局健康安全課長の藤村祐彦 氏から「最近の労働衛生行政について」、山口大学大学院医学系研究科眼科学助教の守田裕希子 先生から「産業現場における眼障害、眼疾患」についての講演が行われた。参加者 130 名。（船津）

5 第 2 回認知症サポート医養成研修会（9 月 9・10 日）

福岡市において開催され、「診断・治療の知識」等の講演、グループ討議及び質疑応答が行われた。（吉本）

6 児童虐待の発生予防等に関する研修会（9 月 10 日）

山口県産婦人科医会と共催で開催し、東京都：広尾レディースの宗田 聡 院長による「これからはじめる周産期メンタルヘルス」の講演を行った。参加者は医師、助産師、看護師等医療関係者及び行政等 56 名であった。（藤野）

7 山口県福祉サービス運営適正化委員会第 104 回苦情解決部会（9 月 12 日）

本年 4 月から 8 月までの苦情相談の現況及び苦情解決事案について審議した。（今村）

8 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（9 月 13 日）

総報酬割導入に伴う介護給付費・地域支援事業支援納付金の決定状況、第 12 次審査情報提供、関係団体との打合会の開催予定等について報告が行われた。（河村）

9 第 2 回地域医療計画委員会（9 月 14 日）

県医療政策課から、平成 29 年度地域医療介護総合確保基金の内示の状況及び第 7 次山口県保健医療計画の策定について説明。本会から、ワーキンググループが中心となって検討している第 7 次山口県保健医療計画の「5 疾病及び在宅医療」の医療機能（案）について説明の後、意見交換を行った。（弘山）

10 山口大学第 80 回経営協議会（9 月 14 日）

就業規則の改正、山口大学基金と山口大学後援財団の統合後の支援事業等について協議が行われた。（今村）

11 山口県地域両立支援推進チーム第1回会議（9月14日）

治療と職業生活の両立支援を効果的に進めるため、山口県における関係者のネットワークを構築し、その取組みの連携を図ることを目的に設置された「山口県地域両立支援チーム（事務局：山口労働局）の第1回会議が開催され、推進チーム設置要綱、推進チームの取組み等について協議が行われた。（藤本）

12 2017 CMAAO 東京総会（9月14日）

9月13～15日の3日間、東京都内で開催され、加盟18か国医師会のうち14か国医師会から約220名が参加した。本会出席の14日は「“End of Life Questions” 終末期医療」をテーマとしたシンポジウムで、17か国からの講演が行われ、武見太郎 記念講演では、横倉会長の座長の下、高久史麿 前日本医学会長が日本の「終末期医療」について講演された。（河村）

13 第1回山口県専門医制度協議会（9月14日）

昨年度山口県が立ち上げた「山口県専門医制度連絡会」が見直され、標記協議会が設置された。専門研修プログラムの確認・検討、専攻医の確保対策等について協議を行った。（山下）

14 特定共同指導（9月14・15日）

病院1機関について実施され立ち会った。（萬、清水、前川）

15 第2回都道府県医師会長協議会（9月19日）

本会提出の議題「次期診療報酬改定での『遠隔診療』に対する拙速な評価の導入は阻止すべき」ほか各県から提出された11題の質問・要望に対して、担当役員から回答が行われた。（河村）

16 地域医療構想調整会議：検討部会「岩国」（9月19日）

岩国医療圏地域医療構想病床機能検討部会の第1回会議が開催され、平成28年度病床機能報告の結果報告の後、病床機能報告に係る課題、回復期機能の確保、慢性期からの転換について協議した。（弘山）

17 日医第5回母子保健検討委員会（9月20日）

会長諮問「新しい子育て支援のあり方についてー日本医師会の立場からー」に関するフリートーキング等を行った。（濱本）

18 日医第2回地域医療対策委員会（9月20日）

地域医療対策委員会報告書の骨子案及び、今後のスケジュールについて協議した。
(弘山)

医師国保理事会 ー第11回ー

1 第16回「学びながらのウォーキング大会」について

11月23日（木・祝）に秋吉台国際芸術村で開催する標記ウォーキング大会の特別講演講師、ウォーキングコース等について協議、決定した。